

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第1学年】(抜粋)

〈教科目標〉 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		「写真や絵で確かめながら読もう」	「想像を広げながら読もう」	「自動車のすばらしいところをみつけよう」	「かるたをつくらう」	「あつまれ、ふゆのことば」	「好きな本を紹介しよう」	「ずうっと、ずっと、大すきだよ」	「動物の赤ちゃんのすばらしいところをみつこう」	「どうぶつの赤ちゃん」	「おもい出してかこう」	「いいこといっぱい、一年生」	
				「くちばし」	「くじらぐも」	「じどう車くらべ」	「あつまれ、ふゆのことば」	「好きな本を紹介しよう」	「ずうっと、ずっと、大すきだよ」	「動物の赤ちゃんのすばらしいところをみつこう」	「どうぶつの赤ちゃん」	「おもい出してかこう」	「いいこといっぱい、一年生」		
B 書くこと	指導事項	課題設定や取材	ア	経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。				◎						○	
		構成	イ	自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。											
		記述	ウ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。											◎
		推敲	エ	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気づき、正すこと。											
		交流	オ	書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合うこと。					○	○					
	言語活動例	ア	想像したことなどを文章に書くこと。												
		イ	経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。					●							●
		ウ	身近な事柄を簡単に説明する文章などを書くこと。												
		エ	紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること。												
		オ	伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。												
C 読むこと	指導事項	音読	ア	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。		○									
		説明的な文章の解釈	イ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。	◎								○		
		文学的な文章の解釈	ウ	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。		◎				◎					
			エ	文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。											
		自分の考えの形成及び交流	オ	文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	○		◎						◎		
		目的に応じた読書	カ	楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。			○								
	言語活動例	ア	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。			●									
		イ	物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。												
		ウ	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。	●		●									
		エ	物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。										●		
オ		読んだ本について、好きなところを紹介すること。								●					

◎主目標 ○主目標に準じる内容 ●言語活動

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第2学年】(抜粋)

<教科目標> 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		「書くことをきめてしらせよう 「今週のニュース」	「お話を読んで、かんそうを書こう 「スイミー」	「物語を読んで、紹介文を書こう 「黄色いパケツ」 「お話の国の友だち」	「読んで考えたことを書こう 「どうぶつ園のじゅうい」	「音読げきをしよう 「お手紙」	「くらべて読もう、本の中のあの子とわたし 「わたしはおねえさん」	「知っていることをつなげて読もう 「おにごっこ」	
				◎	○						
B 書くこと	指導事項	課題設定や取材	ア	経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。	◎	○					
		構成	イ	自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。			○			○	
		記述	ウ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。							
		推敲	エ	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。							
		交流	オ	書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。	○						
	言語活動例	ア	想像したことなどを文章に書くこと。								
		イ	経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。	●							
		ウ	身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。							●	
		エ	紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること。								
		オ	伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。								
C 読むこと	指導事項	音読	ア	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。				◎			
		説明的な文章の解釈	イ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。			◎			◎	
		文学的な文章の解釈	ウ	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。		◎	◎		○	○	
			エ	文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。		○					
		自分の考えの形成及び交流	オ	文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。						◎	
		目的に応じた読書	カ	楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。							
	言語活動例	ア	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。								
		イ	物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。					●			
		ウ	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。								
		エ	物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。		●		●			●	
オ		読んだ本について、好きなところを紹介すること。				●					

◎主目標 ○主目標に準じる内容 ●言語活動

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第3学年】(抜粋)

〈教科目標〉 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		「読んで、かんそうをもとう 「イルカのねむり方」	「ほっこりする文章を書こう 「気になる記号」 「符号など」	「読んで、考えたことを伝えよう 「海をかつとばせ」	「物語の感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」	「せつめいのしかたを考えよう 「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	「とんち話を楽しもう 「三年とうげ」	「ほうこく書を書こう 「本で調べて、ほうこくしよう」 「自分の言葉でまとめよう」	
		指導事項	単元名(教材・題材)	「読んで、かんそうをもとう 「イルカのねむり方」	「ほっこりする文章を書こう 「気になる記号」 「符号など」	「読んで、考えたことを伝えよう 「海をかつとばせ」	「物語の感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」	「せつめいのしかたを考えよう 「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	「とんち話を楽しもう 「三年とうげ」	「ほうこく書を書こう 「本で調べて、ほうこくしよう」 「自分の言葉でまとめよう」	
B 書くこと	課題設定や取材	ア	関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。		○					◎	
	構成	イ	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。							○	
	記述	ウ	書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。					◎			
		エ	文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。								
	推敲	オ	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。		◎						
	交流	カ	書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。								
	言語活動例	ア	身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくり、物語を書いたりすること。								
		イ	疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。		●						
		ウ	収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。					●		●	
		エ	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。								
オ		目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。									
C 読むこと	音読	ア	内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。								
	説明的な文章の解釈	イ	目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。	○				○			
	文学的な文章の解釈	ウ	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。			◎	◎		◎		
	自分の考えの形成及び交流	エ	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。	◎				○			
		オ	文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。			○			○		
	目的に応じた読書	カ	目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。								
	言語活動例	ア	物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。			●	●				
		イ	記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。								
		ウ	記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。	●							
		エ	紹介したい本を取り上げて説明すること。						●		
オ		必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。									

◎主目標 ○主目標に準じる内容 ●言語活動

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第4学年】(抜粋)

<教科目標> 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		「読んで、自分の考えをまとめよう」 「動いて、考えを出す」 「また動く」	「調べたことを報告する文章を書こう」 「読書生活について考えよう」	「物語を読んでしようかいしよう」 「一つの花」	「心の通い合いを読もう」 「ごんぎつね」	「説明のしかたについて考えよう」 「アップとルーズで伝える」 「『仕事リフレット』を作ろう」	「物語を読んで、感想文を書こう」 「三つのお願ひ」	「科学読み物をしようかいしよう」 「ウナギのなぞを追って」	
				関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくり、物語を書いたりすること。	疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。
B 書くこと	指導事項	課題設定や取材	ア		◎						
		構成	イ				◎				
		記述	ウ		○					◎	
			エ								
		推敲	オ								
		交流	カ								
言語活動例	ア										
	イ		●								
	ウ						●				
	エ										
	オ										
C 読むこと	指導事項	音読	ア								
		説明的な文章の解釈	イ	◎				○		○	
		文学的な文章の解釈	ウ				◎	○		○	
		自分の考えの形成及び交流	エ	○							◎
			オ					○	◎		
		目的に応じた読書	カ								
		言語活動例	ア						●		●
			イ								
			ウ	●							●
			エ					●			
オ											

◎主目標 ○主目標に準じる内容 ●言語活動

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第5学年】(抜粋)

(教科目標) 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		筆者の考えをとらえ要旨をまとめよう 「見立てる 生き物は円柱」	伝記を読んで、儀兵衛の生き方に学ぼう 「百年後のふるさとを守る」	自分の活動を振り返り、報告する文章を書こう 「次への一歩―活動報告書」	筆者の伝えたいことを読み取り、自分の考えをまとめよう 「天気を予想する」	資料を用いて、説明しよう 「グラフや表を引用して書こう」	身近な例に置き換えて読み、自分の経験と関連付けて考えよう 「ゆるやかなつながるインターネット」	人物の生き方や考え方をとらえ、読書の世界を広げよう 「わらわの中の神様」
				一人の生き方をとらえ、読書の世界を広げよう 「わらわの中の神様」						
B	書くこと	課題設定や取材	ア	考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。						
		構成	イ	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。						
		記述	ウ	事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。			◎			
			エ	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。				◎		
		推敲	オ	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。			○			
		交流	カ	書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。				○		
	言語活動例	ア	経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくり、物語や随筆などを書いたりすること。							
		イ	自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。			●		●		
		ウ	事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。							
	C	読むこと	音読	ア	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。					
効果的な読み方			イ	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。						
説明的な文章の解釈			ウ	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。	◎	○		◎		◎
文学的な文章の解釈			エ	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。						◎
自分の考えの形成及び交流			オ	本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	○	◎		○		○
目的に応じた読書			カ	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。						
言語活動例		ア	伝記を読み、自分の生き方について考えること。			●				
		イ	自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。	●			●		●	
		ウ	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。							
		エ	本を読んで推薦の文章を書くこと。							
	他	ほかの物語と読み比べること。							●	

平成24年度 小学校国語科年間指導計画表【第6学年】(抜粋)

<教科目標> 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。		単元名(教材・題材)		「文章と対話しながら読み、自分の考えをもとて」 「感情・生き物はつながりの中に」	「五年生に修学旅行のよさを伝えるパンフレットを作ろう」 「ようこそ、わたしたちの町へ」	「伝統文化を楽しもう」 「狂言 柿山伏」「柿山伏について」	「自分の考えを明確に伝えよう」 「平和について考える・平和のとりでを築く」	「作品の世界を深く味わおう」 「やまなし・イーハトーヴの夢」	「ものの見方を広げよう」 「『鳥獣戯画』を読む」	「言葉について調べて考えよう」 「言葉は動く」	
				考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。	②	②	②	②	②	②	
B 書くこと	指導事項	課題設定や取材	ア	考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。	②						
		構成	イ	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。			○				
		記述	ウ	事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。	○						
			エ	引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。							
		推敲	オ	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。			◎				
	交流	カ	書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。								
	言語活動例	ア	経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくり、物語や随筆などを書いたりすること。								
		イ	自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。	●		●					
		ウ	事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。								
C 読むこと	指導事項	音読	ア	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。		○					
		効果的な読み方	イ	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。							
		説明的な文章の解釈	ウ	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたすること。	◎			◎	○		
		文学的な文章の解釈	エ	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。			◎				
		自分の考えの形成及び交流	オ	本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	○		◎	○	◎		
		目的に応じた読書	カ	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。							
	言語活動例	ア	伝記を読み、自分の生き方について考えること。				●				
		イ	自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。	●				●	●		
	ウ	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。									
	エ	本を読んで推薦の文章を書くこと。									
	他	物語や詩を音読したり朗読したりすること。			●						

◎主目標 ○主目標に準じる内容 ●言語活動